

科目区分	基礎分野	科目名	物理学	対象学生	第1学年
		単位数(時間数)	1単位(30H)	学 期	第1学期
担当講師	非常勤講師				
科目目標	<p>1. 物理学的な物の見方、考え方を学ぶ。 2. 看護に役立つ物理学の知識を身につけ、物理的もの見方が関係する事象を理解できるようにする。</p>				
授業概要	<p>人体や医療に関係する物理現象を取り上げて、背景にある物理的なもの見方から理解する。 物を持ち上げたり、患者を動かしたりする看護動作を「てこ」の原理で考察する。 呼吸や吸引、点滴注射、血液の循環を理解するのに必要な「圧力」の概念を学ぶ。 感覚器に備わっている人体の仕組みに関する物理などを学ぶ。</p> <p>第1回 物理で扱う力とは(1) (講義) 第2回 物理で扱う力とは(2) (講義) 第3回 重いものを持つにはどうしたらよいか(1) (講義) 第4回 重いものを持つにはどうしたらよいか(2) (講義) 第5回 看護ボディメカニクスの物理(1) (講義) 第6回 看護ボディメカニクスの物理(2) (講義) 第7回 看護ボディメカニクスの物理(3) (講義) 第8回 身近な圧力(1) (講義) 第9回 身近な圧力(2) (講義) 第10回 身近な圧力(3) (講義) 第11回 呼吸器と吸引の物理 (講義) 第12回 点滴静脈注射の物理(1) (講義) 第13回 点滴静脈注射の物理(2) (講義) 第14回 循環器の物理 (講義) 第15回 終了試験</p>				
授業の進め方					
履修のポイント、留意事項	<p>1 物理学では、公式を覚えるよりも基本的な概念(特に力の動き)を理解する。 2 毎回、レジュメを渡すので、講義内容や教科書を理解する参考にする。 3 毎回、感想カードを渡す。それに感想のほか質問や講義内容の要点を書く。 4 出来るだけ演習実験を行なう。学生は、章末問題にチャレンジする。 5 課題を出すので、分からなかったら、友達同士で議論して、教え合う。</p>				
テキスト	「看護学生のための物理学」 医学書院				
評価方法・配点	終了試験 (80%)、レポート (20%)				